

## 平成 22 年度の全国高等学校情報処理競技大会の問題構成について

### 1. 情報処理競技大会の問題構成と配点の変更について

情報処理検定がビジネス情報部門とプログラミング部門の 2 部門になったことから、平成 18 年度に「プログラム競技大会」から「情報処理競技大会」への大会名称の変更とともに、問題構成の変更を行いました。

前回の変更で「第 部 関連用語と情報活用」と「第 部 アルゴリズム」に変更されましたが、「プログラム競技大会」からの変更であるため、アルゴリズム問題の配点が大きいという問題点がありました。また、ここ数年「得点が同点の場合の順位決定のルール」を使うことが多く、均一的であった第 部の配点についても変更せざるを得ない状況になってまいりました。そこで、平成 22 年度より情報処理競技大会の問題内容を、次の ~ の趣旨により変更を行います。

アルゴリズムの配点が大きかった点を改め、関連用語・データベース・表計算・アルゴリズム各部門の配点を均一化する。

問題の内容に考慮し、配点を分化する。

問題の難易度や別解に配慮し、出題の形式を調整する。

### 2. 平成 22 年度全国高等学校情報処理競技大会の問題構成

第 部 関連用語とデータベース	(40 分)
1. 用語問題 15 問	30 点〔2 点×15〕(4 択)
2. 計算問題 10 問	20 点〔2 点×10〕(記述)
3. データベースの問題(1)	20 点〔詳細未定〕(短問形式)
4. データベースの問題(2)	30 点〔5 点×6〕(語群選択, 記述)
第 部 表計算とアルゴリズム	(40 分)
1. 表計算の問題(1)	20 点〔4 点×5〕(語群選択, 記述)
2. 表計算の問題(2)	30 点〔5 点×6〕(語群選択, 記述)
3. 流れ図の問題(1)	20 点〔4 点×5〕(語群選択, 記述)
4. 流れ図の問題(2)	30 点〔5 点×6〕(語群選択, 記述)

#### (参考資料)

##### 平成 21 年度の全国高等学校情報処理競技大会の問題構成

第 部 関連用語と情報活用	(40 分)
1. 用語問題 10 問	20 点〔2 点×10〕(4 択)
2. 計算問題 10 問	20 点〔2 点×10〕(記述)
3. 表計算の問題	
(1) 選択問題が中心	15 点〔3 点×5〕
(2) 記述問題が中心	15 点〔3 点×5〕
4. データベースの問題	30 点〔5 点×6〕(条件付記述)
第 部 アルゴリズム	(40 分)
1. 流れ図の問題	30 点〔5 点×6〕(語群選択)
2. 流れ図の問題	35 点〔5 点×7〕(語群選択, 記述)
3. 流れ図の問題	35 点〔5 点×7〕(記述)